

麗しの彫漆世界



彫漆風炉先屏風「月映」

北岡省三漆芸展

今回の展覧会では、作家として活動しながら香川県漆芸研究所で後進の指導にもあたっている
香川県指定無形文化財保持者・北岡省三の作品 23 点を展示します。

周到に計算された色構成でありながら、自然の息づかいや温度を感じる造形美は見る者の記憶に
鮮烈に印象深く残ります。塗り重ねた色の層が織りなす麗しの彫漆世界をお楽しみ下さい。

令和 5 年 9 月 22 日(金)▶10 月 22 日(日) 会期中 無休

会場/香川県文化会館 1 階香川漆芸ホール

(高松市番町一丁目 10 番 39 号)

時間/9▶17 時 観覧無料

ギャラリートークのご案内

展覧会場にて北岡省三による作品解説を下記
日程で開催します。申込み不要。無料。

- ・ 1 回目：9 月 27 日(水)13:15~
- ・ 2 回目：10 月 8 日(日)14:00~

香川漆芸の伝統と技術を未来に伝える 香川県漆芸研究所 ☎087-831-1814

麗しの彫漆世界 北岡省三漆芸展 〈展示品一覧表〉

会期：令和5年9月22日(金)～令和5年10月22日(日)

作品名	
1 彫漆風炉先屏風「月映」	ちょうしつふろさきびょうぶ 「げつえい」
2 彫漆短冊箱「清翠花」	ちょうしつたんざくばこ 「せいしょうか」
3 彫漆短冊箱「蘭華」	ちょうしつたんざくばこ「らんか」
4 彫漆箱「湖畔」	ちょうしつばこ「こはん」
5 彫漆蒔絵箱「羽冠」	ちょうしつまきえぼこ 「はねかんむり」
6 彫漆蒔絵箱「翔」	ちょうしつまきえぼこ「しょう」
7 彫漆蒔絵箱「早春譜」	ちょうしつまきえぼこ 「そうしゅんぷ」
8 彫漆箱「紫陽花」	ちょうしつばこ「あじさい」
9 彫漆箱「館」	ちょうしつばこ「やかた」
10 彫漆箱「万華」	ちょうしつばこ「ばんか」
11 彫漆流葉文乾漆盛器	ちょうしつりゅうようもん かんしつもりき
12 彫漆盛器「流彩」	ちょうしつもりき「りゅうさい」
13 彫漆鉢「華」	ちょうしつばち「はな」
14 彫漆渦文鉢	ちょうしつうずもんばち
15 堆黒渦文箱	ついこくうずもんばこ
16 彫漆蒔絵箱「紅梅」	ちょうしつまきえぼこ「こうばい」
17 彫漆流葉文水指	ちょうしつりゅうようもんみずさし
18 堆漆四ツ葉文茶入	ついしつよつばもんちゃいれ
19 堆漆四ツ葉文香合	ついしつよつばもんこうごう
20 堆漆渦文香合	ついしつうずもんこうごう
21 彫漆盛器「月映」	ちょうしつもりき「げつえい」
22 堆漆茶杓 I	ついしつちゃしゃく
23 堆漆茶杓 II	ついしつちゃしゃく
※ 彫漆工程見本	ちょうしつこうていみほん

1-23個人蔵、※ 香川県漆芸研究所蔵

北岡 省三 略歴

1949(S24)年 香川県高松市生まれ
 1968(S43)年 香川県立高松工芸高校漆芸科卒業
 漆芸家 今雪哲郎に師事
 1969(S44)年 重要無形文化財技術保持者(人間国宝) 音丸耕堂に師事
 1972(S47)年 第19回日本伝統工芸展 初入選 以後46回入選
 1975(S50)年 日本工芸会正会員 認定
 1981(S56)年 日本工芸会四国支部展 日本工芸会賞他計9回受賞
 1985(S60)年 日本工芸会四国支部展 鑑査委員 特待出品
 1988(S63)年 香川県美術展覧会 香川県知事賞他計10回受賞
 1991(H3)年 香川県美術展覧会 審査委員 特待出品
 第8回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞受賞
 1992(H4)年 第9回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞受賞
 1995(H7)年 第12回日本伝統漆芸展 朝日新聞社賞受賞
 第43回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞受賞
 1996(H8)年 第13回日本伝統漆芸展 鑑査委員 特待出品
 高松市文化奨励賞受賞
 現代の美 虹色の漆展 招待出品(ニューヨーク・デンバー)
 1999(H11)年 日本工芸の「今」100選展 招待出品(パリ・東京他)
 2000(H12)年 日本現代漆芸展 招待出品(オランダ)
 2001(H13)年 香川県無形文化財保持者に指定
 2006(H18)年 香川県教育文化功労者 受賞
 2010(H22)年 香川県文化功労者 受賞
 2016(H28)年 地域文化功労者文部科学大臣表彰 受賞
 2019(R元)年 第36回日本伝統漆芸展 朝日新聞社賞受賞
 旭日双光章 受章
 2023(R5)年 第40回日本伝統漆芸展 MOA美術館賞受賞
 よんでん芸術文化賞受賞
 現在 (公社)日本工芸会正会員
 (公社)日本工芸会四国支部参与
 日本文化財漆協会参事
 香川県漆芸研究所工芸指導員
 香川県美術家協会名誉会長
 讃岐漆芸美術館館長

用語解説

彫漆(ちょうしつ) …色漆を数十回～100回以上塗り重ねて色漆の層をつくり、出した色まで彫刻刀で彫り下げることによって文様を浮き彫りににする技法。彫りによる立体感と彫りの深さによって変わる色の対照が、独特の美を生み出す。積層の美しさが特徴である。朱漆のみ塗り重ねたものは堆朱、黒漆のみは堆黒と呼ぶ。

堆漆(ついしつ) …色漆を100回以上塗り重ね、5～7mm厚の漆だけの板「堆漆板」をつくり、断面の層が見えるように貼り合わせて成形する。塗り重ねた色漆積層の美しさが特徴である。

香川県漆芸研究所

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番39号

TEL : 087-831-1814 FAX : 087-831-1807

E-mail : shitsugei@pref.kagawa.lg.jp

https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/



同時開催 人間国宝作品 特別展示

■ 音丸耕堂『彫漆色紙笥昆虫譜』

■ 音丸耕堂『堆漆柿香合』